

求める会ニューズ No. 937

3月全体会報告

3月15日(水) 10:00~12:30

【検討事項】

1. 総会準備

①次年度代表・副代表について

- ・次年度代表は大野さん
- ・副代表は部員が1か月交代で代表と協力して進める。副代表の決め方は未定。

②会計監査 3月29日(水) 午後1時 会議室D

③今年度活動報告・次年度活動計画の検討

④総会の食事

今年もロココさんをお願いした。分量・具材多い目にしてもらう。

2. あしの会への配送移行について

- ・配送移行チームを結成し、移行がスムーズに行くようにした。
- ・移行についての説明をニュースと共に配布。配送曜日・時間など確認してください。
- ・分からないことは事務局に尋ねてください。
- ・ニュース936号(3/15号)2面に大野さんの「皆さんへのお便り」を掲載しましたのでご一読ください。
- ・あしの会が各ステーションにあいさつに回られます。神戸市中央区より東のエリアには、月～金にかけて月末までに実施予定。西のエリアは18日(土)にできるかぎり実施したいそうです。在宅の方はよろしくお願いします。

【報告事項】

〈生産者担当〉

○野菜

- ・3月のコンテナ数：大コンテナ126、小コンテナ366 合計492
- ・畑のようす
気温が低く葉物、花物の収穫が順調に続いて

いる。端境期が例年より遅れる可能性もあるが、急激に変動してトウが立つこともあるので、時期は未定。

・作付会議 2月19日(日) 報告

要望は伝えました。ハウスの再建時期が未定のため、トマトなど収量は未定。葉玉ねぎ3個150円、四角豆70g120円に決定。

- ・大谷さん来年6月で市有研をやめたい意向。夏の暑さがこたえるので、丹波太郎に出すくらいにしたいとのこと。できたら新しい人に入ってもらいたいと思うが意見を聞く。

「取る人が減っているのに人数を増やすのはどうか。」「二人では一人に事情がある時に手が回らない。」誰か探して頂きたいと市有研にお願いする。

- ・市有研との話し合い(3/18)の日に協栄運輸に挨拶に伺う。菓子折を持参する。(大野さんが札幌から電話での挨拶はされている)

- ・大谷さんは卵もやめられるのか?→そう理解している。雑務がしんどいと言われている。

○卵 順調に産んでくれています。(大谷さん)

○米 育苗は元来ハウスを使用していないので順調。週末は鹿の防護柵を作成(高木さん)

○牛乳 中央区から東で野菜を取っているところは、牛乳を取っていないところも何本からでも注文できる。

○果物 小松三剛さん来訪。りんごを頂いた。
(会員担当)

地域集会のことを考えたい。人が集まらない。初夏のつどいをどうするか考えたい。希望行事があれば岡さんまで。

〈事業部担当〉

全体会後の即売：定番のもの(パン、豆腐、干物、調味料、海藻類)橋本巧巳さんの青豆、中本さんの椎茸、藤本水産のチリメンジャコ、干ムキエビ、いりこ、梅干し、ハト麦茶

〈広報・庶務担当〉

印刷 3/13 (月)、3/29 (水)、合本製作中

〈学習研究担当〉

- ・福島のびのび園への支援カンパのお願い
- ・吟遊詩人社の望月逸子さん(収穫感謝祭で詩の朗読をして頂いたことがある)から福島支援のため 12500 円カンパを頂きました。

〈会計担当〉

- ・3月で締めますので請求忘れずに。21日引落とし。入金をお願いします。

日本有機農業研究会報告

長野県佐久市 テーマ:「多分何とかなる」

裾野が広がってきた感じ。若い人が多かった。

〈渉外担当〉

4月4日(火) 14:30 兵庫県有機農業研究会
ネットワーク会議 兵庫ボランティアセンター

お知らせ

4月5日(水) 部会

4月10日(月) 資料印刷

4月28日(金) 総会準備

4月29日(土・祝) 総会

※4月全体会はありません。

訃報

元センターG会員の姜守殷さんが3月10日逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

○4月司会と副代表:岡、 当番:小原、谷口

※リンゴ生産者の小松三剛さんが長野から来てくださいました。生産のご苦労等お話を伺い、その後一品持ち寄りの楽しい食事会を持ちました。なお、お父様はお元気とのことです。

小松三剛さんをお迎えして

毎年お楽しみの3月の全体会、今年はお父さんに代って三剛さんが来て下さった。司会者から「リンゴ園の現況についてなど・・・」と促されて、開口一番「あんまり良いことがなくて・・・」と話し出されました。最初は随分緊張されていたと思います。



「昨年は早く芽吹いて雪が降り、花は咲くけど結実しない。なんとか夏を迎え、10月には台風が来て、11月24日には雪、次の日雪がとけて、又次に、-9℃になって凍る。翌日晴れて、そして腐ってしまう。リンゴは糖分があるので-6℃くらいまでは凍らないけれど、-9℃になるとだめだ。26日から30日までは収穫しては廃棄処分。特にシナノスイートとジョナゴールドは病気で木を切った後に台風が来て収穫は少なかった。」

何か新種のリンゴを作る予定は?の質問に「枯れて切った所に、シナノドルチェ(2005年に品種登録された長野生まれの品種)を植えたけれど、リンゴは苗を作るのに3年、定植して実がなるのに3年、でもまだ小さい。普通のリンゴになるには5年かかるから、まだまだです。」

被害に対して行政の助成は?「リンゴは米とは違って嗜好品なので補助金はない。農協が気持ちばかりの物の支援をしてくれた。」

同じような志を持った仲間はあるの?「10人位いる。お茶がらやコーヒーかすから堆肥を作るなど一緒にしている」受粉にはミツバチを使うの?「普通の蜂で、葦に巣をつくらせてその蜂に受粉させる」等々。

その他の質問にも丁寧に答えて下さり、リンゴ生産に自信を持って取り組まれている様子がうかがえて嬉しかったです。リンゴについて“腐らん病”“他家受粉”などの用語も初めて聞き、調べて理解しました。

いつもながら、手作りの心のこもった持ち寄りの食事会。作る側になりたいと思いつつも、毎回感謝していただく役割をしています。今回もごちそうさまでした。
(逆瀬川G 福井 のぶみ)



第45回日本有機農業研究会・長野県有機農業研究会 合同大会

大会テーマ 「たぶん、なんとかなる」 2017年3月4日～5日

会場 長野県佐久市 佐久大学

大会委員長の小城さんは東京から長野に移住し、1年前から有機農家として半農半著(児童文学)の生活を送っています。今大会は良き仲間とともに信念と情熱と自由な発想で企画されました。

「とにかく、大会に来て！」の呼び掛けで多数の参加でした。これからの暮らしの選択肢、可能性の一つとして役に立てればとの小城さんの思いを次世代の人たちが真剣に受け止めていました。

1日目

- 「土と暮らしのオープンカレッジ」：バラエティ豊かな12の公開講座がありました。
- 講演：「若月俊一の活動から振り返る、農村医療と有機農業」佐久総合病院 浅沼信治先生
若月先生は食料増産の時代に、多くの農民が農薬散布中倒れ病院に運ばれて来ることから有機農業の大切さを見直し、国土・農業・農村を守り食事の大切さを提唱されてきました。
このままでは医療も福祉も介護も賄いきれません。農作物を自分たちで栽培し、そのおいしさや生産の喜びを感じ「いただく」ことに感謝しながら元気に死んでいく。大量生産ではなく、家族経営の農業を大切にすることが有機農業にあると思いますという浅沼先生のお話でした。
- 映画上映会：「アラヤシキの住人たち」今の時代で見失ったものをもう一度、見つけませんか？真木共働学舎の日々フォーカスした土と暮らしのドキュメンタリー映画でした。
- 食事とお土産：いろいろと並んだブースから野菜やき・稲荷寿司・草餅・パンなどで昼食を楽しみました。信州の美味しいお店が盛り沢山でした。
- 懇親会：夕食は長野県の有機野菜だけを使った料理です。準備から調理、配膳などの手伝いはボランティアの人たちの応援でした。工夫された献立でした。

2日目

- 種苗交換会
- 特別パフォーマンス：長野県の気鋭農家さんの3人のトークセッションです。心意気や、思考錯誤の現状など本音のさわやかなトークでした。
飛田さん・山崎さんの3人で参加しました。午後は上田城へと。(本一 G 福本志津子)

市有研との話し合い

2017.3.18

参加者 大谷さん、一色さん、橋本慶子さん(市有研)
小浦、岡部、岡、花岡(求める会) 於ライフピア市島

あしの会への移行について、野菜出荷日、時間の確認をしました。移行に伴い未知のところもありますが、お互いに努力していきましょう。

また、退会者が出るのではと案じておられました。そうならないように求める会も努力していますが、市有研も野菜の内容など特に気をつけてほしい。大事な時期なので、消費者が嬉しくなるようなもの、例えば季節のフキノトウ、ワラビ、ゼンマイ等を入れることはできないかとの質問に、一色さんは畦に生えているものは田の持ち主のものだし、山のもは山の持ち主のもので、勝手に採るわけにはいかない。慶子さんは、もし採れたとしてもよく似た毒性の植物もあり恐ろしくて採れないとのことでした。(思慮がたりなかった)

4月の第1週の野菜はありますが、2週から隔週になるそうです。大谷さん、慶子さんのビニールハウスが壊れてしまい、端境期対策が出来ないと困っておられました。

大谷さんが来年の6月に退会されるそうで、市有研は2人になってしまいます。何とか出来ると一色さんには言われますが、何かと不都合の起こることも予想されます。野菜のコンテナを定額制にして各自、家でコンテナを作り持ち寄れば出来るとの意見に、慶子さんは、それでは生産者と消費者の意気が下がるとの意見でした。若い生産者にも有能な方がいるので、声をかけていくとのことでした。(都由乃町 G 花岡 桂子)

野菜の隔週配送および米、たまご、その他の配送変更のお知らせ

野菜の端境期に伴って、4月第2週から隔週配送となります。たまご、米、その他の配送も変更になります。当面、下記のような配送になりますが、天候により端境期が延期されるかもしれません。

火 曜	木 曜	金 曜
4/11 ・野菜 ・たまご (倍量) ・取扱い品②	4/13	4/14 ・野菜 ・たまご (倍量) ・取扱い品② ・豚肉
4/18	4/20 ・野菜 ・たまご(倍量) ・米 ・お茶,油,醤油 ・取扱い品②	4/21
4/25 ・野菜 ・たまご (倍量) ・豚肉 ・お茶,油,醤油 ・米	4/27	4/28 ・野菜 ・たまご (倍量) ・お茶、油、醤油 ・米
5/2	5/4 ・野菜 ・たまご (倍量) ・豚肉	5/5
5/9 ・野菜 ・たまご (通常) ・取扱い品② ・牛肉	5/11	5/12 ・野菜 ・たまご (通常) ・取扱い品② ・牛肉 ・豚肉
5/16 ・野菜 ・たまご (通常) ・お茶、油、醤油 ・豚肉	5/18 ・野菜 ・たまご (倍量) ・お茶、油、醤油 ・取扱い品② ・牛肉	5/19 ・野菜 ・たまご (通常) ・お茶、油、醤油

4月のカレンダー

4月5日 (水) 部会
4月20日 (木) 自動引落日
共同購入申込締切日
4月29日 (土・祝) 総会

4月は全体会はありません



お礼と報告

福島県の「のびのび福祉会」支援の 캄パは3月15日で締め切り、666口(54人)、66,600円が集まりました。ご協力ありがとうございました。
また、吟遊詩人社の望月逸子さんより、同会にお米を送ってくださいと、12,500円の 캄パをいただきました。(学習研究担当)

2017年度 総会のご案内

日時 4月29日(土・祝) 10:30~14:00
会場 神戸学生青年センターホール

プログラム 10:30~12:00 議事
12:30~13:55 昼食と交流会
14:00 閉会



◎議決権は1人1票です。全員出席届のハガキを郵送してください。欠席される方は委任状に必ず記入のうえ、総会成立のために必ず郵送してください。

◎各グループからは1人以上出席をお願いします。

◎信任投票用紙はありません。世話人の信任は議案として審議にかけます。

◎総会資料は前もって全会員に配布しますので、目を通しておいてください。

総会当日は、事業部の即売もあります。パン、塩干物、調味料、乾物などいつもの品物のほか、豚肉加工品、梅干し、イチジクジャム、干しブドウ、だしジャコ、チリメンジャコ、干しむきエビなどを用意しています。保冷バッグ、マイバッグをお持ちください。